



巻き爪、陥入爪の治療方法

第10回日本フットケア学会参加報告

- 新しいテーピング法・・・長さ 8cm、幅 3cm程度に切ったテープに爪の幅にあった切れ込みを加え、1枚のテープで爪甲周囲の皮膚全周に渡って覆う方法 渡部晶子(東北大学病院皮膚科助教)
- VHO(3TO)法・・・ワイヤーを使用した方法 竹内一馬(社医: 喜悦会那珂川病院血管外科)
- マチワイヤー・マチプレート法・・・爪に穴を開け足底から足背方向のベクトルに矯正力を掛ける方法 町田英一(医社: 瑞雲会高田馬場病院整形外科)
- ジェルネイル・・・爪の欠損部分に使用、マチワイヤーと併用塩之谷香(塩之谷整形外科)
- アクリル人工爪・・・患爪の上に装着 東禹彦(東皮フ科医院)
- B/S スポンジ・・・半透明のプラスチック製のスプリング板を爪表面に装着し矯正する方法 櫻井一男(有)フットクリエイト)
- 炭酸ガスレーザー・・・爪甲に炭酸ガスレーザーを低出力で照射する方法 桑名隆一郎(医: 高知くわな会桑名皮フ科)

以上がシンポジウムにて報告された内容です。それぞれに長所、短所があるようです。高齢の方、糖尿病の方、若い女性、スポーツをされる方、様々なケースに対応できる日が待ち遠しいと思います。痛くなく、きれいに、が理想です。

フットケアの日 制定



糖尿病や閉塞性動脈硬化症などによる足病変の予防を啓発するため、**日本フットケア学会** や**日本下肢救済・足病学会** などが2月10日を「フットケアの日」と制定した。「2(フツ)10(ト)」と読める語呂合わせから、この日を選んだ。病変の重症化により足を切断する人は後を絶たず、推定で年間1万人に上る。切断すると、その後の生存率は低下する。足の健康維持が重要なのに、足に対する意識が低い実態も両学会が実施した患者調査で分かった。予防には、足を清潔にして、定期的検査が必要だ。日本下肢救済・足病学会理事長の大浦武彦北海道大名誉教授は「足病変の早期発見、早期治療で人々を足切断から救いたい」と訴えている。

フットケア基礎講座開講のお知らせ

医療や介護の現場で注目されている「フットケア」!! 高齢期になると足のトラブルから立ち上がりや歩行などの日常動作が低下するという報告があります。さらに筋力の低下から転倒や骨折を招くことになり寝たきりにつながることもあります。また糖尿病や下肢閉塞性動脈硬化症の方は、ささいな傷から足を切断するケースもあります。適切な「フットケア」の知識と技術の基礎を学ぶ講座です。

- 講義: フットケア総論・足の基礎知識・足と爪のトラブル
- 実技: カウンセリング・足浴・爪ケア・保湿ケアマッサージ
- 日時: 5月8日(火)・15日(火) 10:00~15:00 (2回講座)
- 場所: ホームケア荘内鶴岡店 2F 会議室
- 受講料: 32,000円 (教材費: 8,000円含)

今回の講座は東日本大震災で被災された方の支援として受講料無料です。(教材費 8,000円のみ)

締め切りは5月1日とさせていただきます。



訪問フットケアのご案内

ご自宅、介護施設などにセラピストが訪問いたします。

爪のケア、タコ・ウオノメのケア、フットマッサージを行います。30分 2,500円 鶴岡市以外の方は交通費がかかります。

庄内余目病院

フットケア外来のご案内

毎週木曜日・金曜日 第2土曜日 9時~12時
ご予約は 電話 0234-43-3434

ウエルネスケア 鈴木 由利
〒999-7652 山形県鶴岡市添川字楯ノ沢 61
TEL: 090-7561-1040 FAX: 0235-64-3252
メール アドレス hariti369@r7.dion.ne.jp



フットケアに関わる講演・教育研修事業
糖尿病外来フットケア事業
JHCA 認定セラピスト養成事業
セラピスト訪問サービス事業
フットケア・美容・健康に関する商品販売